スピーカーシステム

S-AX10

取扱説明書

パイオニアの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。取扱説明書は後々お役に立つこともありますので「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保存してください。

安全に正しくお使いいただくために 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

❗ 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

特　長

このスピーカーシステムは、従来のCDなどはもちろんのこと、DVD-AudioやSACDなどの新しい高品位デジタル音源に収録された音の世界を余すことなく再生すべく、当社の技術力を結集して開発されました。

キャビネットの開発にあたってはコンピューターによる振動モード解析・音響シミュレーションを駆使し、キャビネットの振動によるノイズを排除しました。響きや奥行きなどの細かな音もノイズに埋もれることなく鮮やかに再生し、回折を生じさせないラウンド形状とあいまって豊かな音場を形成します。仕上げには天然シルバーハート突板に高級ウレタン塗装を施し、どんな家具とも調和する美しい外観に仕上がっています。

スピーカーユニットは新開発のリボントゥイーターが120kHzまでの再生を可能とし、高品位デジタルフォーマットに対応しています。基本の帯域には25cmのウーファーと3cmコンプレッションドライバーを採用。低域から高域までエネルギー感に満ちた臨場感あふれる音を再生します。

❖ AFAST(Acoustic Filter Assisted System Tuning)テクノロジー

キャビネットの宿命ともいえる定在波は、キャビネット自体のノイズ放射ばかりでなく、スピーカーユニットの動作をも害します。本機ではコンピューターによるシミュレーションを駆使し、音響管を用いてキャビネット内部の音響インピーダンスをコントロール、豊かな低域を保ちながら定在波の発生を防いでいます。

❖ キャビネットの無共振構造

上下方向の板振動を排除するための分割構造、長方形より強度のある台形断面形状、表面からのノイズ放射を防ぐため内部木材と外部木材を特殊制振材で分割した3層構造など、徹底してキャビネットからのノイズを排除。細かな反射音もくっきりと描き出す、鮮やかで奥行きのある音場を実現しています。また、スピーカーユニットの性能を最大限引き出すため、バッフル板には強固なオークのムク材を採用。この強固なキャビネットをNFセラミックス製の重量級ベースでしっかりと支え、重心の低い、どっしりとした低音を再生します。

❖ 新開発リボントゥイーター

高品位デジタルフォーマットの持つ広大な帯域に対応すべく、120kHzまで再生可能なリボントゥイーターを開発しました。厚さ9μの極薄純アルミ振動板をネオジウムマグネットの強力な磁気回路でドライブ。奥行きや臨場感などの細かな情報を鮮やかに再生します。

❖ バイアンプ・マルチアンプ対応入力端子

アンプから供給される音楽信号をロスなく伝送するために、世界中からパーツを厳選し、厳密にチューニングされたネットワークはバイワイアリング・バイアンプ接続に対応しています。さらに、マルチアンプ接続でお楽しみいただけるように、ネットワークをパスする端子も装備。別売のデジタルネットワーク内蔵コントロールアンプC-AX10、4chパワーアンプM-AX10をお使いいただきますと、最先端のデジタルマルチアンプシステムが楽しめます。

ご使用の前に

ご使用の前に

❗このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、6Ωです。負荷インピーダンスが4～16Ωのステレオアンプ（スピーカー出力端子に4～16Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

⚠スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上の入力をいれない。
- ピンプラグの抜き差し時はアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げ過ぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スーパートゥイーターを破損することがある）。

- 振動板は、外力により強い衝撃を与えますと破損することがあります。振動板には手を触れないでください。
- スーパートゥイーターには強力な磁気回路を用いています。鉄などの磁性体を不用意に近づけないでください。

設置上の注意

- このスピーカーシステムは約89Kgの重量がありますので、床や足の上へ落としたりしないように取り扱いには十分注意してください。
- 天然シルバーハートとオークの無垢材を使用していますので直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したり、スピーカーが故障する原因になります。
- スピーカーシステムの重量が大きいため、不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。

ご注意：

防磁設計(EIAJ)*ですのでテレビやモニターと組み合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置の仕方によっては色むらを生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようならスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。

*「防磁設計(EIAJ)」とは(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

キャビネットのお手入れ

天然シルバーハートに高級ウレタン塗装で入念な仕上げを施してあります。ホコリやヨゴレが付いた場合は乾いた柔らかい布などでカラ拭きするだけで十分です。汚れがひどい場合は、約5～6倍に薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて汚れを落とし、さらに乾いた布で湿り気を拭き取ってください。シンナーやベンジン、スプレー式の殺虫剤などが付着すると表面が溶けたり変色する場合がありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

グリルネットの着脱

このスピーカーシステムは前面のグリルネットを取りはずすことができます。

グリルネットを着脱するときは、次のように行ってください。

① はずすときはグリルネットの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っぱってグリルネットの下側をはずします。

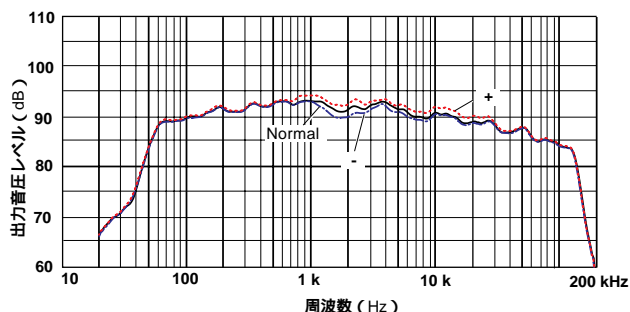
② 同じように、グリルネットの上側を手前に引っぱるとグリルネットは本体からはずれます。

③ 取り付けるときは、グリルネットの4隅にある突起部を本体の穴に合わせて、押し込みます。この時、グリルネットのR形状側を下側にしてください。

ハイレベルコントロールスイッチについて

入力端子の上についているトゥイーターのハイレベルコントロールスイッチは、お客様のお好みに合わせて、NORMAL、＋、－のいずれかに合わせ、ご使用ください。

HIGH LEVEL CONTROL
＋
NORMAL
－

ハイレベルコントロールスイッチによる出力音声周波数特性の変化：

設置について

スピーカーシステムの設置

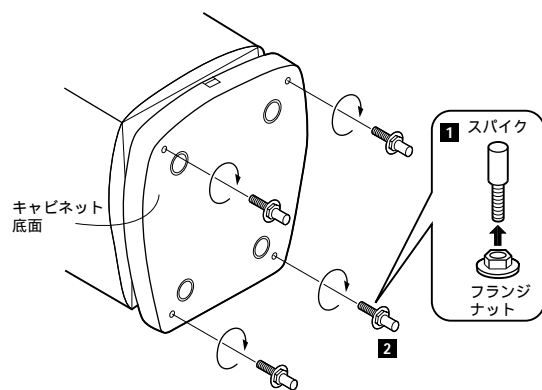
より良い音で再生するための基本的な設置方法について説明します。

- S-AX10はフロア型スピーカーシステムです。床の状態により設置が不安定になることがありますので、下の表を参考にしてセッティングしてください。

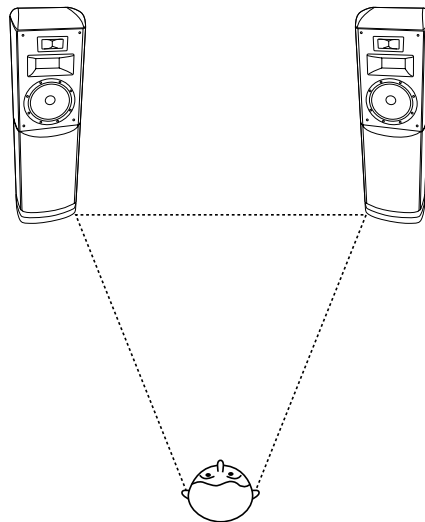
床の状態	付属品の使用
硬い床(コンクリート厚い硬い板等)	そのまま設置
厚手のジュータン	付属のスパイクを付ける
薄手のジュータン	そのまま設置、またはスパイクを付ける
畳	そのまま設置

■スパイクの取り付けかた

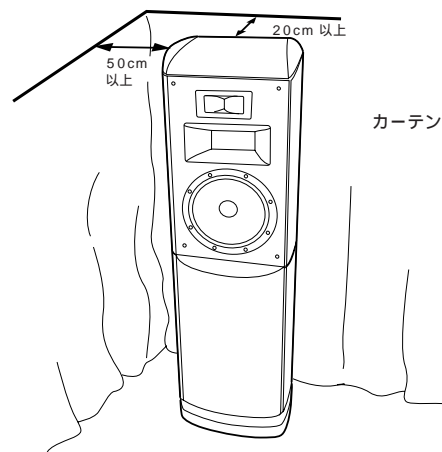
手順

1. **スパイクにフランジ付きナットを取り付ける。**
2. **次に、それをキャビネット底面の、金属製鬼目ナットを打ち込んであるネジ部の 4 箇所にねじ込む。**
3. **フランジ付きナットの高さを調整し、キャビネットにガタツキがない様にする。**

ご注意：

- 本機のスピーカーベースはNFセラミックスでできており、フローリング床などの上で傾けると、床にキズをつけるおそれがあります。必ず柔らかい布などを下に敷いてください。
- 本機は約89Kgの重量があるため、傾けながらスパイクの取り付け作業を行うことは大変危険です。必ずキズのつかない柔らかい布などの上にねかせて作業してください。

- 左右のスピーカーはリスニングポジションに対し等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。

リスニングルームの環境：

スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙に影響を受けます。最良の状態に近づけるための一例を説明します。

- 洋間など壁面が反射または共振しやすい部屋では壁面にはカーテンで、また底面へはジュータンなどで対策する事をおすすめします。カーテンは部屋の隅まで入れると音のこもりが少なくなります。またスピーカーの対向面が固い壁の場合も厚手のカーテンで対策すると、定在波の発生を防ぎ良い結果が得られます。

- 和室など壁が透過性の場合は、スピーカーシステムの背面をできるだけ壁に添わせるか、反射性の物を背面に設置することをおすめします。
- 設置場所は床面のしっかりした場所を選び、壁面からは、図に示す程度の距離を目安にして設置してください。

接　続

ステレオアンプとの接続

接続するにあたって、本機にはスピーカーコードは付属しておりません。スピーカーコードは次の点に注意してお選びください。

① できるだけ太い芯線のものを使用し、必要以上長にくしないでください。

② 左右の長さが異なる場合は、長い方に合せて同じ長さにして使用してください。

③ 種類により固有のキャラクターを持つものがあります。注意してご使用ください。

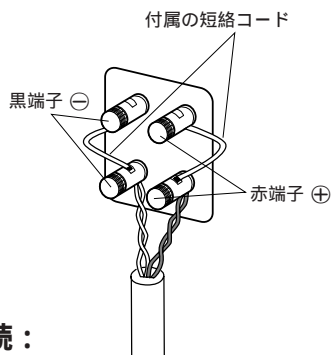
④ 接触抵抗ができるだけ小さくなるように、スピーカー端子とアンプへの接続はしっかり固定してください。

コードの接続

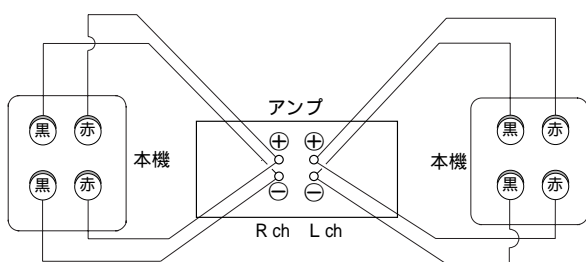
① ステレオアンプの電源スイッチを切ってください。(POWER OFF)

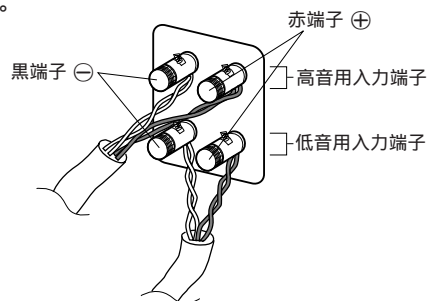
② スピーカーシステム裏側の入力端子(下側)へ、スピーカーコードを接続します。入力端子の極性は赤がプラス(＋)、黒がマイナス(−)です。

③ スピーカーコードをアンプのスピーカー出力端子につなぎます。(詳しくは、アンプの取扱説明書を参照してください)。

手で下側の入力端子を(⊂)に回してゆるめ、スピーカーコードの先端を端子の穴に差し込み、ツマミを締め付けます。

バイワイヤリング接続：

本機は、バイワイヤリング接続が可能です。

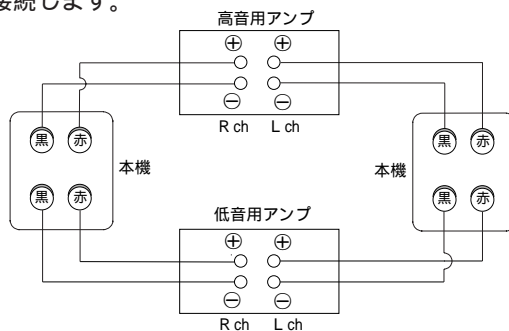
■バイワイヤリング接続

スピーカーコードは片チャンネルあたり低音用と高音用に各々２本必要です。低音用と高音用にそれぞれ異なったコードを使用し変化ある音色を楽しむこともできます。

1. 入力端子のツマミを左側(⊂)にまわしてゆるめ、短絡コードを２本取りはずしてください。この状態で低音用スピーカーと高音用スピーカーが完全に独立します。
2. 上側が高音用、下側が低音用です。それぞれの入力端子にスピーカーコードを差し込み、ツマミを締め付けます。

ご注意：

この時、コードの極性を逆に接続すると本機の音声が著しく損なわれることがありますので"コードの接続"の項を参照して正しく接続してください。

3. 同じチャンネルの低音専用コードと高音専用コードは、アンプのSPEAKERS端子(＋、−を違えないように)と同じ端子に接続してください。

■バイアンプ接続の場合

さらにグレードの高い接続法としてバイアンプ接続があります。バイワイヤリングの時と同様に入力端子板の短絡線を完全にはずした状態で、低音用入力端子には低音専用アンプの出力を、高音用には高音専用アンプの出力を接続します。

マルチアンプの接続

本機は、マルチアンプ接続をしてお楽しみいただけるように、内蔵のディバイディングネットワーク回路を通さず、ダイレクトにスピーカーユニットに接続することができます。

■マルチアンプとは

ウーファー(低音再生用スピーカー)やトゥイーター(高音再生用スピーカー)に、周波数帯域信号を分ける働きをするのがディバイディングネットワークです。本機ではコイルやコンデンサなどのパーツを厳選し、それぞれのスピーカーユニットの位相が合うように調整された、専用の高品位ネットワークを内蔵しております。このネットワークの働きをパワーアンプの前にもっていき、(チャンネルディバイダー)それぞれのスピーカーユニットを直接パワーアンプで駆動することを「マルチアンプ接続」といいます。

マルチアンプの接続には、クロスオーバー周波数や低音 / 高音の音量バランスの設定、低音用 / 高音用のアンプ選びなど、お好みの音を創るオーディオの楽しみがあります。

設定値

推奨クロスオーバー周波数：1.0 kHz 以上

スロープ特性：12 dB/oct 以上

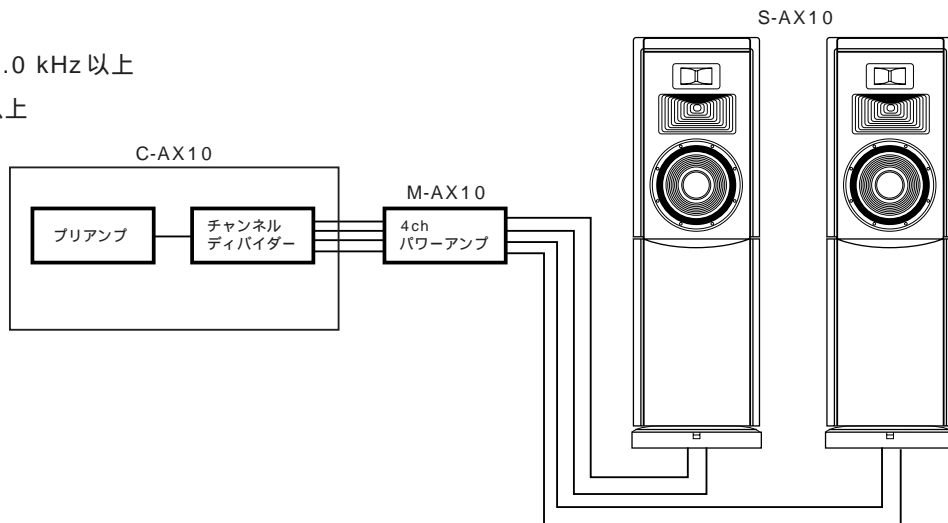
プリアンプ、チャンネルディバイダにデジタルネットワーク内蔵プリアンプ C-AX10 をお使いいただき、パワーアンプに 4 チャンネルパワーアンプ M-AX10 をお使いいただきますと、プリアンプ、パワーアンプ 1 台ずつの簡単な構成で、アナログ回路では不可能な位相回転のない(直線位相)、音源位置をそろえた(タイムアラインメント)最先端のマルチアンプシステムをお楽しみいただけます。

デジタルネットワーク(C-AX10)使用時の推奨設定値

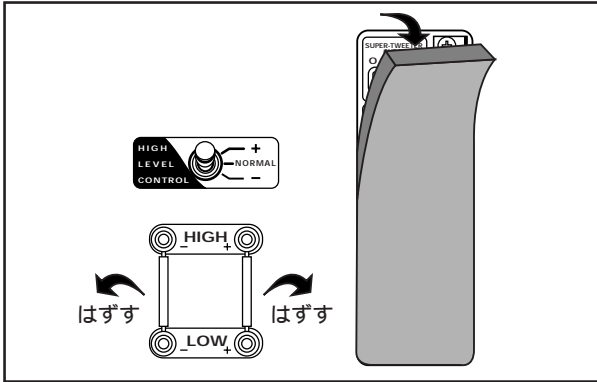
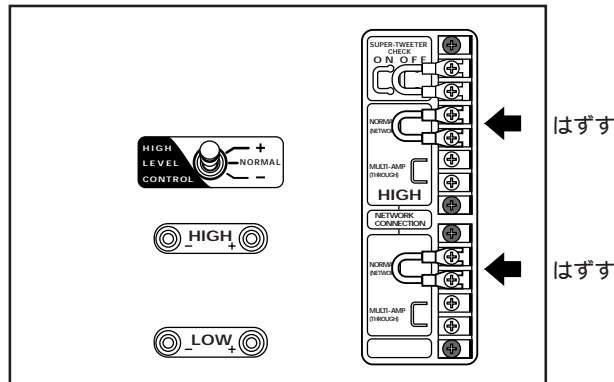
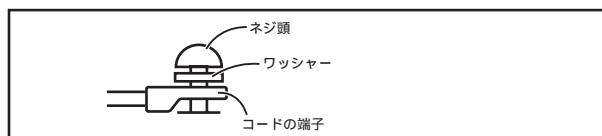
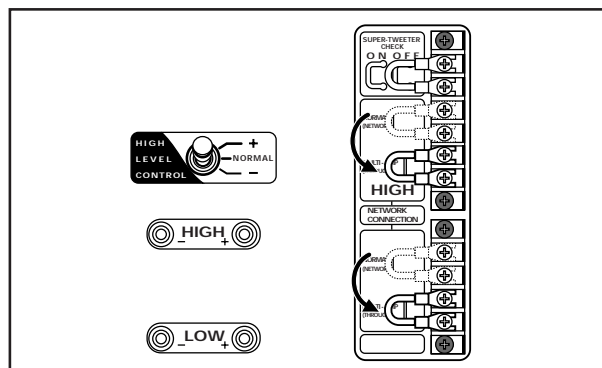
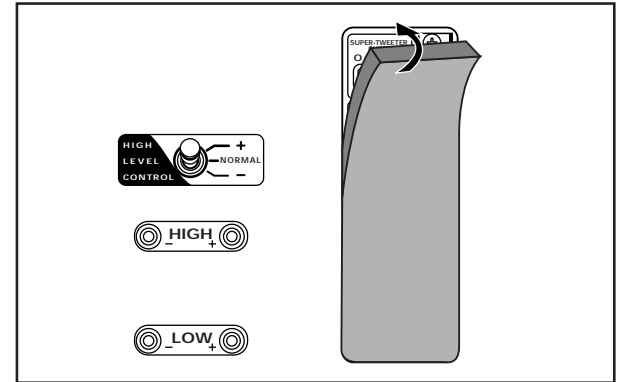
出力モード：FIR(直線位相特性)

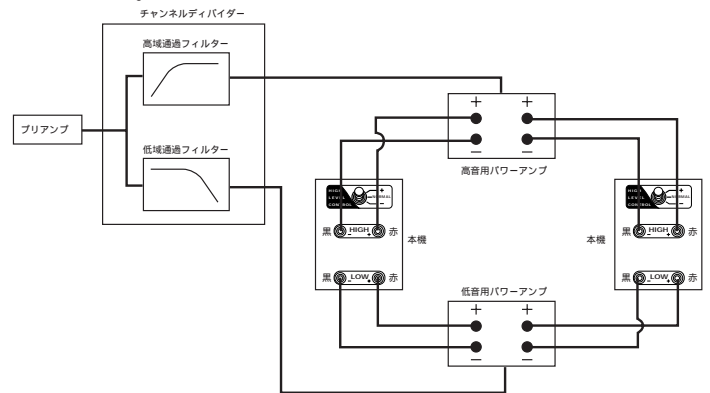
クロスオーバー周波数：1.0 kHz

タイムアラインメント(HIGH)：FWD 0.55ms

レベル(HIGH)：－ 5.8dB

■マルチアンプの接続方法

プラス(+)ドライバーをご用意ください。

1. 入力端子横のカバーをはずしてください。

2. 「NORMAL(NETWORK)」端子のコード(上から 2 本目/3本目)をとめているネジをゆるめ、コードをはずします。はずした後、ゆるめたネジを締めてください。

3. 下の「MULTI-AMP(THROUGH)」端子のネジをゆるめ、手順 2、ではずしたコードを差し込んでから、ネジを締めてください。
(コードのY型端子がワッシャの下にくるように差し込んでください)

4. カバーを付けてください。
以降は 5 ページのバイアンプ接続と同様です。

ご注意：

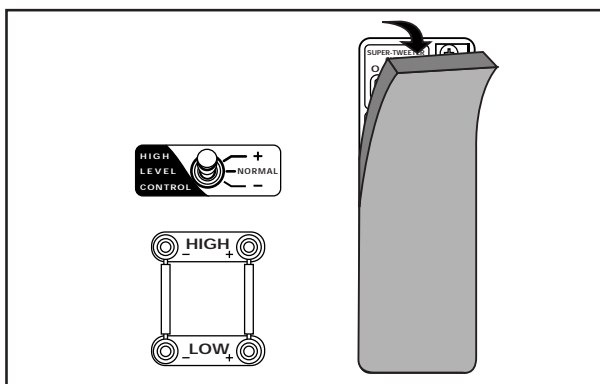
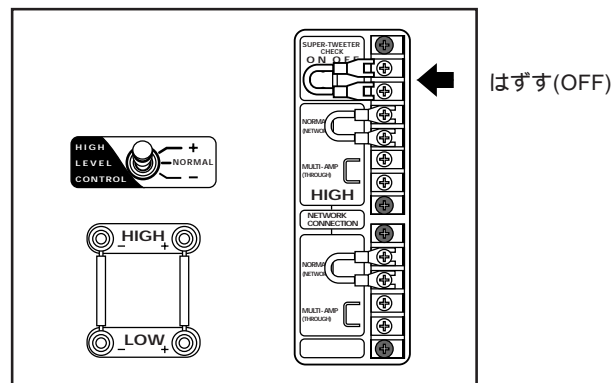
接続は必ずパワーアンプの電源を切った状態で行い、音を出すときは、ボリュームをしぼった状態から徐々に音量を上げながら、正しく接続されているかチェックしてください。内蔵ネットワークを通らないため、誤った接続状態で動作させるとスピーカーを破損するおそれがあります。

スーパートゥイーターについて

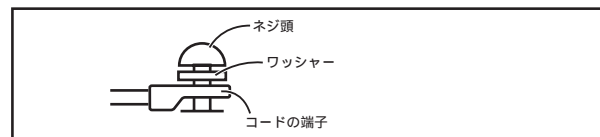
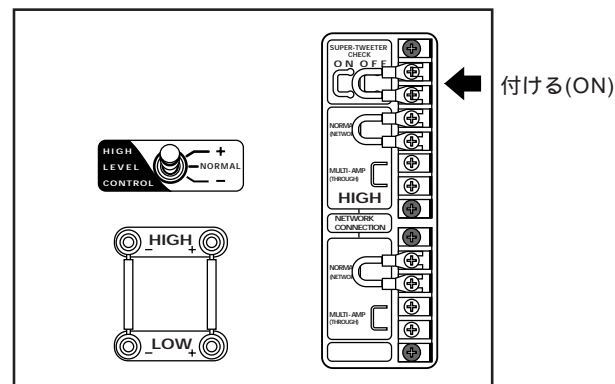
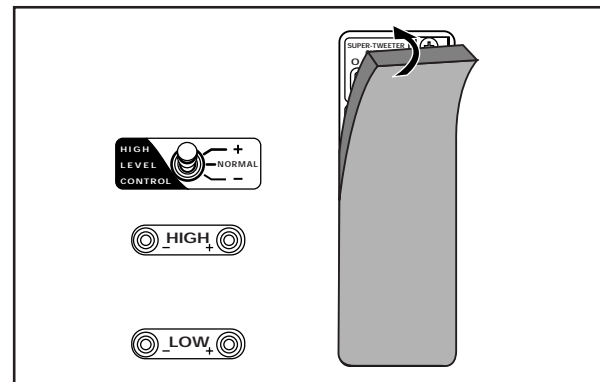
本機では120KHzまで再生可能な新開発リボン型スーパートゥイーターを搭載しています。

超高音域を受け持つため、クロスオーバー周波数は27KHzに設定されており、万が一故障した場合でも通常のスピーカーユニットとは違い、すぐに故障とはわかりません。そこで本機ではスーパートゥイーターの動作チェック用にON/OFF端子を設けてあります。正常に動作している場合、OFFにすると明らかに音色が変わります。OFFにしても音色が変わらない場合は最寄りのパイオニアサービスステーションにご相談ください。

■スーパートゥイーターON/OFFの仕方

プラス(+)ドライバーをご用意ください。

1. 入力端子横のカバーをはずしてください。

2. 「SUPER-TWEETER CHECK」端子のコード(一番上)をとめているネジをゆるめ、コードをはずすとOFFになります。

3. 再び手順2、ではずしたコードを差し込んでから、ネジを締めるとONになります。

(コードのY型端子がワッシャの下にくるように差し込んでください)

4. カバーを付けてください。

仕 様

形式 .... 位相反転式フロア型
防磁設計(EIAJ)*
スピーカー構成（2 ウェイ+ スーパートゥイーター）
ウーファー .... 25 cm コーン型
トゥイーター ....
3 cm コンプレッションドライバー＋ホーン
スーパートゥイーター .... リボン型
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 30〜120 kHz
出力音圧レベル .... 92 dB/W(1m)
許容入力
最大入力(EIAJ) .... 160 W
定格入力(EIAJ) .... 40 W
クロスオーバー周波数 .... 1.0 kHz，27 kHz
外形寸法 .... 383(幅) x 1260(高) x 425(奥行) mm
質量 .... 89.5 kg
付属品 .... スパイク x4
ナット x4
クッション x4
取扱説明書 x1
保証書 x1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 x1

● 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

＊「防磁設計(EIAJ)」とは（社）日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

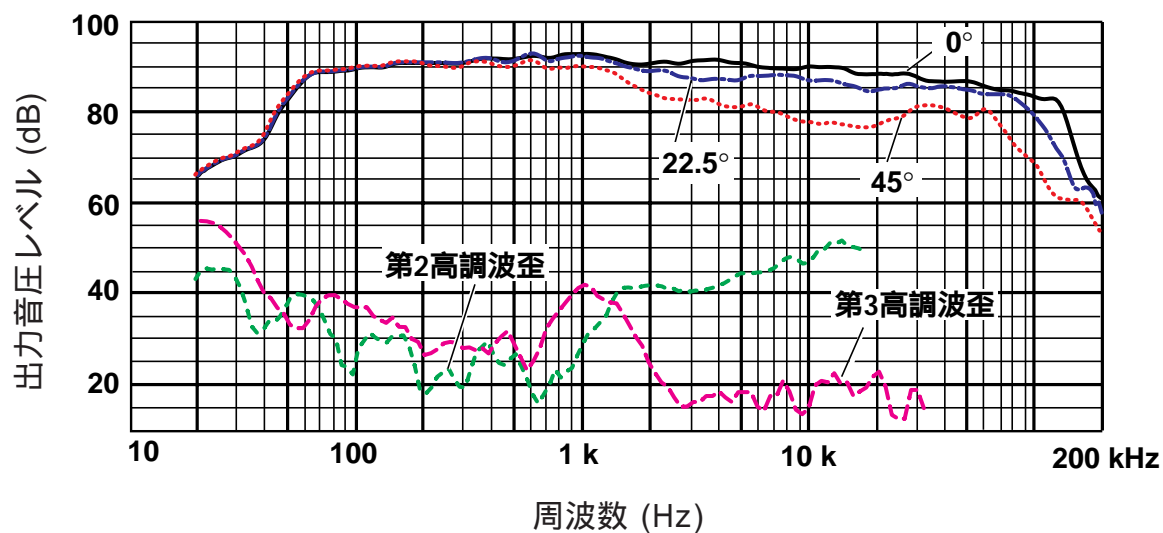
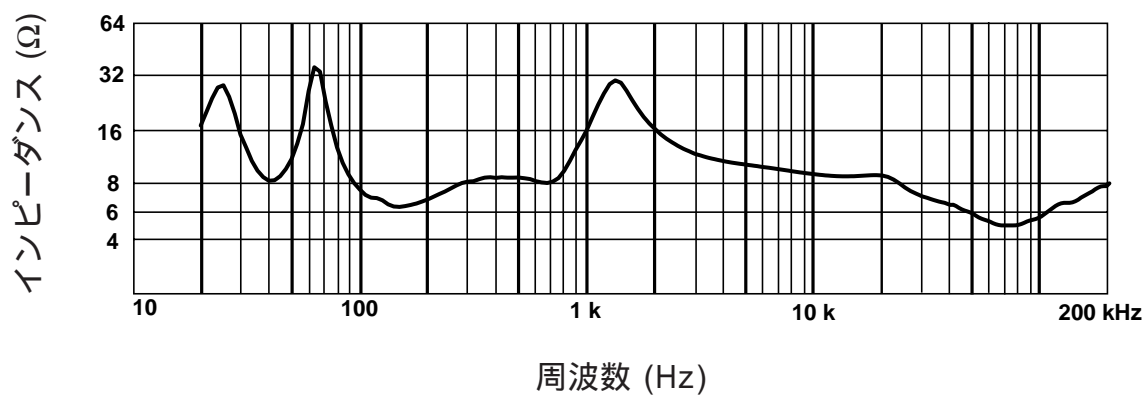
保証期間中（1 年間）、および保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または最寄りのサービスステーションにご相談ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、本機の補修用性能部品の＊最低保有期間＊は、製造打切後 8 年間です。

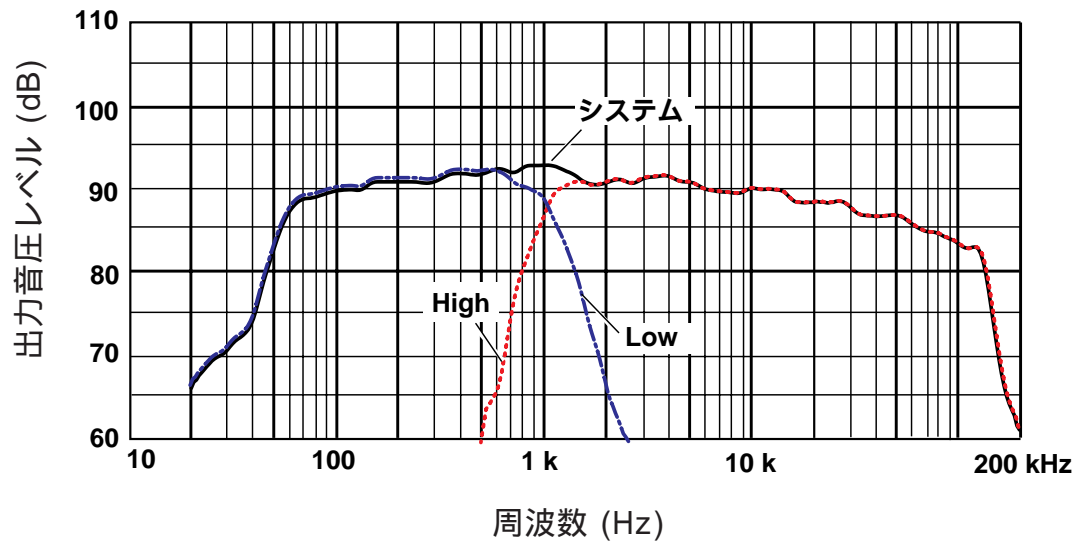
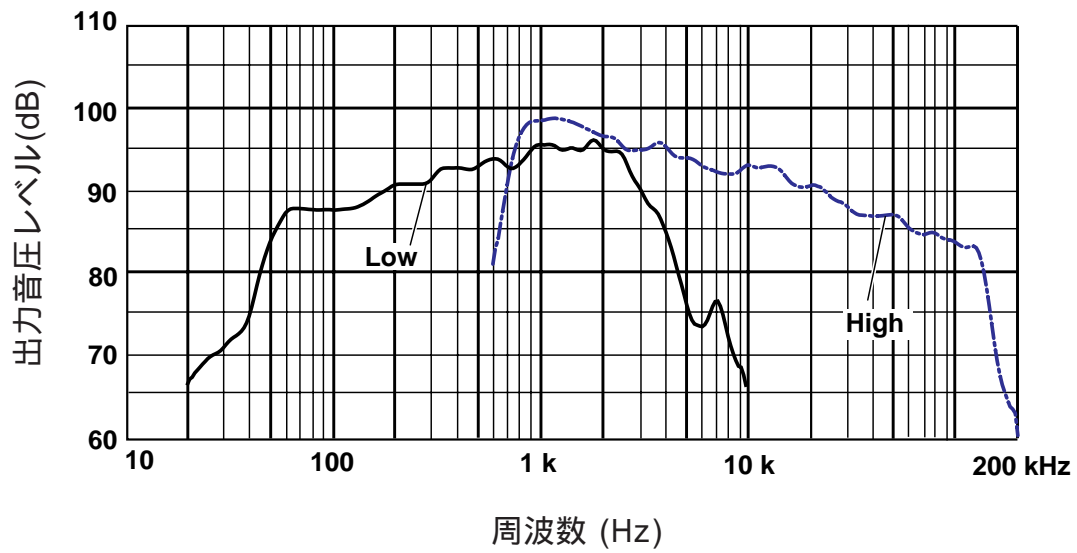
＊この期間とは通商産業省の指導によるもので、補修用性能部品とは本機の性能を維持するために必要な部品です。

このスピーカーシステムのキャビネットには天然のシルバーハート材が使われています。バッフル板にはオークの無垢材を使用しています。このため、塩ビ化粧材などに比べ色の艶や深みなど素晴らしいものがあります。

これらは天然材のため 2 つと同じ柄のあるものは存在しません。この点をお含みくださり、ご使用をお願いいたします。

出力音圧指向周波数特性／高調波歪特性
出力音圧レベル (dB)
100
80
60
40
20
0°
22.5°
45°
第2高調波歪
第3高調波歪
10
100
1 k
10 k
200 kHz
周波数 (Hz)

インピーダンス特性
インピーダンス (Ω)
64
32
16
8
6
4
10
100
1 k
10 k
200 kHz
周波数 (Hz)

出力音圧／分割特性(内蔵ネットワーク使用時)
出力音圧レベル (dB)
110
100
90
80
70
60
10
100
1 k
10 k
200 kHz
システム
High
Low
周波数 (Hz)

出力音圧／分割特性(内蔵ネットワーク未使用時)
出力音圧レベル(dB)
110
100
90
80
70
60
10
100
1 k
10 k
200 kHz
Low
High
周波数 (Hz)

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問合わせ窓口　**0070-800-8181-22**

● カタログのご請求窓口　**0070-800-8181-33**

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

ステレオ再生のエチケット：ステレオの音量はあなたの心掛け次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間は小さな音でも隣近所へ通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<99I00ZF0P01>　<SRA1330-A>